



公文書館 利用案内

平日 9時～19時

土日祝日 9時～18時

(書庫内資料の利用申請は17時30分まで)

每週水曜日

年末年始
12月28日～1月3日

特別整理期間

6月11日
～
6月14日

12月3日～12月6日

（休館日についてはウェブサイト、または当館内の掲示等で御確認ください）



令和元年度

県政映画上映会



上映作品から(県政映画 No.61)

県政映画は主に昭和三十～四十年代に、県が制作した広報映画です。当館ではこの県政映画を多目的ホールのスクリーンで鑑賞いただく上映会を例年企画しており、本年度は、八月二十九日(県の記念日)、十一月三日(文化の日)に開催しました。

「県の記念日」上映会では、前回東京五輪の県内聖火リレーの模様や県内の水資源に関する作品などを、「文化の日」上映会では、阿仁根子番楽や、昭和三十二年の種苗交換会横手大会の模様などを上映し、合計で百二十一名の方々に御来場いただきました。県政映画は、当館閲覧室においてDVDの視聴も可能ですのでお気軽にお問い合わせください。



前期展示会場風景より

<前期展示コーナー構成>

- 1 秋田の海
- 2 秋田の川
- 3 海運と港湾整備
- 4 河川舟運の繁栄
- 5 秋田の漁業の近代化
- 6 十和田湖の養殖漁業
- 7 田沢湖のクニマス
- 8 干拓前の八郎潟



後期展示会場風景より

<後期展示コーナー構成>

- 1 久保田藩(秋田)
- 2 久保田藩(大館)
- 3 久保田藩(横手)
- 4 久保田藩(檜山)
- 5 久保田藩(角館)
- 6 久保田藩(湯沢)
- 7 亀田藩(亀田)
- 8 矢島藩(矢島)
- 9 本荘藩(本荘)

令和元年度 企画展報告

(前期) 「海と川と湖と」

(後期) 「秋田県の城下町」

(八月二十九日～九月二十三日)

(十一月十二日～十二月三日)

今年度の企画展は、前期と後期でテーマを変更して開催し、約五千名の方に御来場いただきました。

前期は、九月に開催された「天皇陛下御即位記念第三十九回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」の応援を兼ねて、当館所蔵資料の中から海・川・湖に係る資料五十八点を展示しました。そのうちの一つ、「男鹿半嶋図」(地七)は、秋田県を代表する観光地である男鹿半島の江戸時代の景観を色彩豊かに描いた5m近い長さの絵巻物です。その長さゆえに、普段は全体を広げての閲覧が難しいのですが、貴重な原本を展示することで、来場者の皆さまに当時の男鹿半島の姿を見ていただくことができました。

後期は、江戸時代に現在の秋田県域にあった久保田や横手、本荘などの城下町及びその機能を備える角館や湯沢などに関係する資料三十九点を展示しました。この展示では、それぞれの町を色鮮やかに描いた絵図を多数展示しました。また、絵図に描かれた町の明治期以降の様子を示す文書や写真も展示し、江戸時代から近現代に至る中で町がどのように移り変わったかを見ていただくことができました。

公文書館講座

当館所蔵の資料についての知識や歴史への興味・関心とともに、歴史資料の保存と活用的重要性や当館の活動に理解を深めていただくことを目的に、今年度は「古文書解読講座」を八回、「歴史講座」を二回、「出前講座」を一回開催しました。

いずれの講座も、これまでに当館で行った講座への受講経験が少ない方の参加が増え、講座への期待と関心の高まりが感じられました。

「古文書解読講座」では、第一回から第四回までは初級者向けとして比較的平易な字で書かれていた「岡本元朝日記」などを題材に、第五回から第八回までは中・上級者向けとして秋田藩九代藩主佐竹義和直筆の文書などを題材に、さまざまな古文書を読みました。

●令和元年度 公文書館講座一覧●

◆古文書解読講座

- 7 / 5 (金) ①古文書解読入門編
－「候文」を読む－
- ②家老の日記で学ぶ古文書①
－「岡本元朝日記」を題材に－
- 7 / 12 (金) ③古文書で読む生類憐みの令と秋田
- ④家老の日記で学ぶ古文書②
－「宇都宮孟綱日記」を題材に－
- 7 / 19 (金) ⑤「米沢町丁代日記」を読む
- ⑥疋田定志の「東海道中日記」を読む
- 7 / 26 (金) ⑦義和直筆の備忘録を読む
－「用向書留」－
- ⑧「義宣家譜」を読む

◆歴史講座

- 9 / 20 (金) ①企画展「海と川と湖と」をみる
- 11 / 29 (金) ②近世から近代の「秋田」を見る

◆出前講座

- 10 / 9 (水) ①秋田県公文書館所蔵資料に見る
秋田藩の重臣配置と由利諸藩の成立
(秋田寿大学)



歴史講座の様子

「歴史講座」では、今年度開催した企画展の見所や展示資料の解説を行いました。その際、文献資料だけでなく、絵図資料を数多く取り上げるとともに、展示できなかった所蔵資料の紹介をしました。

また、当館では「あきた県庁出前講座」を実施しております。県民の皆さまからの要請を受けて「公文書館所蔵資料に見る〇〇」をテーマとした講座を出前します。(講座名の〇〇には、地域名などが入ります。)

『岡本元朝日記』第六巻

秋田藩家老などを務めた岡本元朝の日記の翻刻本第六巻が刊行となりました。宝永四年(一七〇七)四月から翌五年十二月までの記録となります。

今巻では江戸時代の南海トラフ地震として知られる宝永四年十月の宝永地震、同年十一月に起きた富士山噴火という、日本史上屈指の大規模災害について、災害の状況、続々ともたらされた関東から薩摩国までの被害の様子など、当時江戸屋敷にいた岡本元朝自身が体験した地震や降灰の様子などが詳細に記録されています。

『岡本元朝日記』第六巻は、既刊同様に消費税抜き四千円で頒布しております。左記までお問い合わせください。

秋田活版印刷株式会社

〒01-0901
秋田市寺内字三千刈 一〇〇一
電話 〇一八(八八八) 三五〇〇

令和元年度

市町村公文書・歴史資料

保存利用推進会議

十一月二十二日（金）、公文書と歴史資料の保存管理、利活用などについて、県内市町村の担当者と情報の共有化、情報交換を図ることを目的として開催しました。

基調講演として、茨城県常陸大宮市文書館 係長 高村恵美氏をお招きし、「地域アーカイブズを一から作る」常陸大宮市文書館の五年間の取組」と題してお話していただきました。

講演では、常陸大宮市に文書館を設置するに至った経緯から、高村氏自身の体験に基づく廃校舎を再利用する場合の問題点や、必要な設備、チェックポイントなど、実際の現場で奮闘して来られたからこそその視点で、様々なアドバイスをいただきました。

まとめでは、五年間の取り組みを総括し、管理上の問題や将来に向かうビジョンなど、貴重なお話を惜しみなく披露していただきました。
また、茨城県では「佐竹氏」をテ

ーマに講演会を開催すると、会場は大入り満員となる鉄板ネタであるとともに、佐竹氏につながる秋田にも親しみを持っていただいている様子の紹介がありました。

詳細は、当館発行の「研究紀要」第二十六号に掲載します。

事例報告では、次の三つの発表をしていただきました。

- ①「第四十五回 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国（安曇野）大会報告」（当館）
- ②「公文書管理条例制定後の現状と課題に関して」（秋田市）
- ③「古文書整理事業の概要に関して」（鹿角市）



基調講演の様子

公文書の引渡し・

公開状況

当館では、歴史資料として重要な公文書等の保存と利用のため、県の各課所で作成された公文書の引渡しを受けています。昨年度は約三千件の文書を受領し、これらの公文書は当館の定める基準に基づいて評価・選別を行い、継承すべき県政資料として利用者への公開に備え、当館の書庫に保存します。保存した公文書のうち、簿冊完結から三十年を経過したものは、公開へ向け個人のプライバシーを侵害する情報の有無を主眼に点検し、目録作成・データベース登録などの作業を行います。令和元年は新たに公文書二百四十七件が公開決定となりました。

<引渡し・保存状況>

	引渡件数	保存件数	保存率
知事部局 (平成30年度分)	3,017 件 (5,019 冊)	367 件 (602 冊)	12.2 %
各行政委員会 (平成29年度分)	31 件 (65 冊)	9 件 (16 冊)	29.0 %

<令和元年新規公開状況>

新規公開の候補とした公文書		808件
内訳	公開と決定	247件
	非公開と決定（一部非公開を含む）	561件
	一部非公開（※）	97件
	非公開（※）	464件

※ 非公開とすべき年数が満了した時に公開となる

令和二年度

行事予定

◆企画展

（前期） 8月18日～9月22日
（後期） 10月26日～12月1日

◆公文書館講座

●古文書解読講座

6月26日・7月3日・10日・17日

●歴史講座

（第一回）9月18日（第二回）11月27日

◆県政映画上映会

（第一回）8月28日（第二回）10月30日

◆古文書相談日

毎月第2・第4火曜日中心に実施

※日程等については、変更になる場合があります。ウェブサイトまたは当館内の掲示でご確認ください。

ツイッターのご案内

当館では、ツイッターによる資料やイベントの紹介などの広報活動を行っております。是非ご覧ください。

（アカウント名） @Akita_Archives
（検索）「ツイッター 秋田県公文書館」

スマートフォンの方は
こちらから

QRコード

